

# 祝！桑名市統計協会 創立70周年



桑名市統計協会の役員の皆さん

## 桑名市統計協会とは

桑名市統計協会は昭和25年に創立され、現在会員は61人。県内で唯一残る統計協会となっており、今年で70周年を迎えます。この70年の間には市の人口が4万人から14万人になるなど、市も大きく変化をとげてきました。統計協会は、社会や経済の状況の変化を把握するために行われる各種統計調査へ調査員として積極的に従事し、統計事業の発展に寄与する活動を行っています。

今年10月には、5年に1度の国勢調査が実施されます。市民の皆さんには、一層のご協力をお願いします。



4月に行われた役員会では、今年度の統計協会の活動予定などについて話し合いが行われました。

## 国勢調査ってなに？

国勢調査は、大正9年の第1回調査以来、国の最も基本的で重要な統計調査として実施され、今年で100年目を迎えます。人口とその構造、世帯の実態を明らかにし、安心して子どもを育てられる環境の整備や、高齢者福祉、児童福祉などの施策の立案、企業や団体による製品・サービスの開発や需要予測など幅広い分野で活用されています。

**問** この記事に関するお問い合わせは、総務課（☎ 24 - 1130 FAX 24 - 1350）、  
秘書広報課（☎ 24 - 1492 FAX 24 - 1119）へ。

# 対

桑名市統計協会

×

桑名市長

# 談

## 印象に残る調査

**市長**…創立70周年おめでとうございます。桑名の統計調査を担っていただいておりますことに感謝します。これまでいろいろな経験をされていると思いますが、印象に残っていることはありますか。

**石川**…調査に行ったときに「ワシはこういうことは絶対せん。したことない」とすぐに断られたことがありました。何度も通い続けました。何度も通い続け「あんたがいつも笑顔やで」と、ご協力いただいたときは本当にうれしかったですね。

佐藤…一人ひとりに書いていただくのが大切です。何度も通ってご協力いただけるとがんばった甲斐があったと感じます。

## 人とのつながりを大事にしたい

**会長**…「なんでこの調査をしないといけないのか」と言われることもあり。国が政策を立案するにしてもデータがないとできません。このデータを元に国策を考えるわけです。桑名は城下町だから人情が残っていますので、助かっている部分があります。

**市長**…市も絆とか人のつながりを大事にした地域づくりをしようとしています。みんなの課題をみんなで解決できるように、自治会だけでなく民生委員や老人クラブ、PTAなどが一体となり、まちづくり協議会として大家族のようなつながり

## お話伺いました



桑名市統計協会  
会長  
おとち 梶尾 奈津子さん



桑名市統計協会  
副会長  
じゅんこ 石川 淳子さん



桑名市統計協会  
副会長  
ふみこ 佐藤 文子さん

をつくりたいと考えています。

## 調査の先に

**会長**…ある調査では、銀行と郵便局とコンビニの距離を調べたことがありました。その後、コンビニで郵便局の業務が行われることとなり、このための調査だったのかと気づきました。

**市長**…時代の半歩先を歩んでいるわけですね。国が何を考えているかを見ることができる。奥が深いですね。  
**会長**…統計って本当に奥が深いですよ。私たちの人格

形成の場でもあります。

## 国勢調査の年

**市長**…今年は5年に1度の国勢調査ですね。  
**会長**…総務省統計局が算出する人口推計には国勢調査による人口が使われています。重要な調査であり、皆さんにはご協力をいただかないといけません。  
**市長**…今年の国勢調査も皆さんと一緒に乗り切りたいと思います。100周年に向けて、ぜひこれからも引き続きご協力をお願いします。

